

# 太良

議会だより  
News from the Assembly



太良町

平成26年度一般会計予算

**49億9千500万円**

## contents 3月定例会

- 3月定例会 議決結果 ……3~5P
- 一般質問 4名が登壇 ……6~9P
- 総務常任委員会行政視察 ……10P
- 経済建設常任委員会行政視察 ……11P
- 新年度議案調査 ……12P
- 宿毛市議会政務調査受入れ ……13P
- 町村議会議長会定期総会 ……13P
- 杵藤地区4町全議員研修会 ……13P
- 議会の主な活動・街角クイズ ……14P

発行／太良町議会 編集／議会広報編集委員会  
〒849-1698 佐賀県藤津郡太良町大字多良1番地6  
TEL 0954-67-2151

<http://www.town.tara.saga.jp/>

議会の情報がインターネットで見られます。  
太良町役場のホームページにアクセスし、議会情報をクリックしてください。

**No.132**

平成26(2014)年4月11日発行  
初版発行／昭和56年8月1日

【嫁川沿いのソメイヨシノ】

# 3月 定例議会

会期 / 3月4日～14日(11日間)

平成26年度当初予算

会計名	予算額	前年度比
太良町一般会計	49億9,500万円	△5.0%
太良町山林特別会計	7,000万円	7.7%
太良町後期高齢者医療特別会計	1億2,500万円	5.0%
太良町国民健康保険特別会計	17億3,100万円	△5.0%
太良町漁業集落排水特別会計	6,300万円	23.5%
太良町簡易水道特別会計	1億円	33.3%
太良町水道事業会計	8,210万円	14.8%
町立太良病院事業会計	14億2,286万2千円	23.2%
総計	85億8,896万2千円	△0.4%

## 平成26年度 主な事業

- ◆地域づくり事業費補助金(特産品の開発、販路拡大、イベント等の開催補助等) ……790万円
- ◆放課後児童健全育成事業(学童保育事業に係る経費) ……1,382万2千円
- ◆子育て世帯臨時特例給付金(消費税増税に伴う子育て世帯向け生活資金の補助) ……1,000万円
- ◆子どもの医療費助成(医療費の助成対象者を高校生まで拡大) ……3,362万8千円
- ◆家庭用合併処理浄化槽設置整備事業費補助金(合併浄化槽の設置補助) ……2,376万8千円
- ◆有害鳥獣被害防止対策費補助金(電気柵及びワイヤーメッシュの購入補助) ……525万円
- ◆中学生卒業祝金(高校等への入学時の経済的負担軽減 1人3万円の祝金) ……318万円
- ◆地区公民館等整備事業費補助金(地区公民館等トイレ洋式化推進事業) ……300万円
- ◆給食センター建設事業(設計業務ほか) ……1,767万円

平成25年度 補正予算後総額(一般会計) 56億5,135万1千円

## 主な補正

増額補正

- ◆公共施設整備基金積立金 ……817万円
- ◆法面保護補修調査設計委託料 ……1,000万円
- ◆中学校卒業祝金 ……300万円

減額補正

- ◆在宅高齢者総合相談業務委託料 ……243万4千円
- ◆家庭用合併処理浄化槽設置整備事業費補助金 ……1,188万4千円
- ◆農地集積協力金 ……430万円
- ◆青年就農給付金 ……750万円
- ◆橋梁調査設計委託料 ……3,000万円
- ◆法面保護補修事業 ……1,600万円

## 26年3月定例会議決結果

3月定例議会は、事件議案15件、人事案件1件、新年度予算8件及び補正予算8件の計32件が町長より、また、意見書2件が議会より提案され、議決結果は次のとおりです。

議案番号	件名	結果		内容
第1号	太良町いじめ問題等発生防止支援委員会設置条例の制定について	可決	全員賛成	学校におけるいじめ及び暴力等の問題行動に関し、専門的な見地から検討を行い改善を図るための委員会設置条例の制定
第2号	太良町行政財産使用料条例の一部を改正する条例の制定について	可決	全員賛成	消費税法及び地方税法の改正に伴う使用料の改正
第3号	太良町土地改良事業の経費の賦課徴収に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	全員賛成	消費税法及び地方税法の改正に伴う賦課金の改正
第4号	太良町漁港管理条例の一部を改正する条例の制定について	可決	全員賛成	消費税法及び地方税法の改正に伴う使用料及び占用料の改正
第5号	青少年問題協議会設置条例の一部を改正する条例の制定について	可決	全員賛成	地方青少年問題協議会法の改正に伴う改正
第6号	太良町子どもの医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	全員賛成	子どもの医療費の助成対象年齢上限を小学生から高校生(満18歳)まで引き上げるための改正
第7号	太良町道路占用料徴収条例の一部を改正する条例の制定について	可決	全員賛成	消費税法、地方税法、道路法等の改正に伴う占用料の改正
第8号	太良町法定外公共物の管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	全員賛成	太良町道路占用料徴収条例の改正に伴う占用料の改正
第9号	太良町社会教育委員設置条例の一部を改正する条例の制定について	可決	全員賛成	社会教育法の改正に伴う改正
第10号	太良町学校体育館使用条例の一部を改正する条例の制定について	可決	全員賛成	多良中学校屋内運動場・武道場の完成に伴う使用料の制定等による改正
第11号	太良町病院事業管理者の給与及び旅費等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	全員賛成	太良町病院事業管理者の給与等を医師とのバランスをとるための改正

議案番号	件名	結果		内容
第12号	太良町非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	全員賛成	消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律の施行に伴う改正
第13号	太良町立児童館設置及び管理条例を廃止する条例の制定について	可決	全員賛成	町立児童館を廃止するため
第14号	太良町農林漁業振興資金の融通に伴う事業の指定及び融資額の限度について	可決	全員賛成	平成26年度対象事業として、園芸作物経営、畜産経営、ノリ養殖、畜産伝染病対策を指定 融資の限度額 ————— 8,000万円
第15号	喰場辺地に係る総合整備計画の策定について	可決	全員賛成	辺地債を活用し、町道喰場中央線及び町道端月線の拡幅改良事業を行うための総合整備計画の策定
第16号	平成25年度太良町一般会計補正予算(第4号)について	可決	全員賛成	橋梁調査設計委託料外各種事業及び各事業の確定、確定見込み、入札減等によって1億1,971万1千円減額 平成25年度の歳入歳出総額 56億5,135万1千円
第17号	平成25年度太良町山林特別会計補正予算(第3号)について	可決	全員賛成	歳入、歳出とも決算見込み、精算等による増額 或いは減額によって1,852万4千円の減額 平成25年度の歳入歳出総額 1億1,838万6千円
第18号	平成25年度太良町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)について	可決	全員賛成	歳入、歳出とも決算見込み、精算等による増額 或いは減額によって30万2千円の増額 平成25年度の歳入歳出総額 1億2,471万5千円
第19号	平成25年度太良町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)について	可決	全員賛成	歳入、歳出とも決算見込み、精算等による増額 或いは減額によって694万9千円の減額 平成25年度の歳入歳出総額 18億4,813万2千円
第20号	平成25年度太良町漁業集落排水特別会計補正予算(第3号)について	可決	全員賛成	歳入、歳出とも決算見込み、精算等による増額 或いは減額 平成25年度の歳入歳出総額 ——— 5,784万6千円
第21号	平成25年度太良町簡易水道特別会計補正予算(第2号)について	可決	全員賛成	歳入、歳出とも決算見込み、精算等による増額 或いは減額 平成25年度の歳入歳出総額 ——— 7,441万9千円
第22号	平成25年度太良町水道事業会計補正予算(第2号)について	可決	全員賛成	歳入、歳出とも決算見込み、精算等による増額 或いは減額 平成25年度の予算額 ————— 7,445万円

議案番号	件名	結果	内容
第23号	平成25年度町立太良病院事業会計補正予算(第1号)について	可決 全員賛成	歳入、歳出とも決算見込み、精算等による増額 或いは減額 平成25年度の予算額 —— 11億3,291万6千円
第24号	平成26年度太良町一般会計予算について	可決 全員賛成	昨年と比べて△5.0% —— 2億6,500万円減
第25号	平成26年度太良町山林特別会計予算について	可決 全員賛成	昨年と比べて7.7% —— 500万円増
第26号	平成26年度太良町後期高齢者医療特別会計予算について	可決 全員賛成	昨年と比べて5.0% —— 600万円増
第27号	平成26年度太良町国民健康保険特別会計予算について	可決 全員賛成	昨年と比べて△5.0% —— 9,200万円減
第28号	平成26年度太良町漁業集落排水特別会計予算について	可決 全員賛成	昨年と比べて23.5% —— 1,200万円増
第29号	平成26年度太良町簡易水道特別会計予算について	可決 全員賛成	昨年と比べて33.3% —— 2,500万円増
第30号	平成26年度太良町水道事業会計予算について	可決 全員賛成	昨年と比べて14.8% —— 1,060万円増
第31号	平成26年度町立太良病院事業会計予算について	可決 全員賛成	昨年と比べて23.2% —— 2億6,751万2千円増
第32号	太良町固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意 全員賛成	固定資産評価審査委員会委員の選任 任期3年間 新宮義晃さん、井手カツ子さん、中島末博さん
意見書 第1号	容器包装リサイクル法を改正し、発生抑制と再使用を促進するための法律の制定を求める意見書の提出	可決 全員賛成	資源の無駄遣いによる環境負荷を減らすことは急務であり、デポジット制度の導入をはじめとした事業者責任の強化が不可欠となっている。 一日も早い持続可能な社会への転換を図るため、容器包装リサイクル法を改正し、発生抑制と再使用を促進するための法律を制定することを強く求める意見書を提出  提出先 内閣総理大臣、環境大臣、経済産業大臣、農林水産大臣、厚生労働大臣、財務大臣、消費者庁担当大臣
意見書 第2号	TPP(環太平洋連携協定)交渉に関する意見書の提出	可決 全員賛成	TPPは、交渉が大詰めを迎えているとされている今もなお、交渉内容については情報は開示されていない。食の安全、医療、保険、ISDなど、国民生活に直結する問題であることから、国民に対する情報開示は必要不可欠であり、早急に十分な情報を開示すべきである事を踏まえ 1.TPP交渉において、TPPに関する衆参農林水産委員会決議と政府・与党決議を必ず実現すること。 2.TPP交渉に関する国民への情報開示を徹底すること。以上、2項目を必ず実現するよう求める意見書を提出  提出先 内閣総理大臣、内閣官房長官、外務大臣、農林水産大臣、内閣府特命担当大臣、経済産業大臣、衆議院議長、参議院議長

# 一般質問

所賀 廣 議員

## 消防団を中核とした防災力の充実と強化を今後どのように整備していくのか

答▼昨年制定された法律に基づき、防災力の強化を図り住民の安全の確保に資してまいりたい

**議員** 基本理念の中に地域防災力の充実強化に関する計画の策定を行う事とあるが、その策定は検討しているのか。

**総務課長** 現在策定している中で、地域防災計画がありその中に

**議員** 地区の自主防災組織が定める地区防災計画を作成することについて県と調整を行っている。

**議員** 団員数を考えた時、地区防災計画について各地区や消防幹部、役員さんを含めての説明会等も計画的に考えてよいと思うが。

**総務課長** 地区の防災計画については、内容が判然していない訳だが具体的になれば様子を見て必要性も調査していく。

**議員** 消防団の強化を図るとあるが、団の幹部と十分に検討する必要があるのか。

**総務課長** 団の幹部と話をすることで、条約定数等もどう考えていくのか、見直す時期がきはじめているものと考えている。

**議員** 法の中に盛り込まれている消防団の優遇として、商業店舗

で割引などのサービスが受けられる応援事業所制度の導入を検討してはどうか。

**総務課長** 太良町だけでは考えにくい問題である。藤津郡とか杵藤地区まで広げたところであれば優遇制度になると思われる。

**議員** 防災設備や機材の整備強化を考えた時、各部に発電機やGPS機能の付いたタブレット端末を配備してもいいと思うがどうか。

**総務課長** 国からの補助金がどれ位になるのか解れば、役員、幹部に諮って何を整備するのか検討したい。

**議員** これも消防団員の処遇改善の一つと思うが、退職報奨金を一律5万円引き上げ、最低支給20万円となっているが、在団期間が何年以上の団員に支給されるのか。

**総務課長** 5年以上の在籍が必要となっている。

**議員** 一律5万円引き上げの財源は、各自自治体で負担するということか。

**総務課長** この報奨金は、全国の消防共済組合に負担金を納めて、その中から退職者に対して支給金が支払われる様になっているが、5万円の負担増はやらない通

るのか後程調べたい。

**議員** 機能の充実の一つである指令センターから通報される防災無線。この通報のあり方を考え直す必要があるのではないかと。住民の方々から非常に分かりづらいとの声が多く聞かれるが、消防本部と検討する必要はないのか。

**副町長** 広域圏の会議で私からも申し上げたがシステムの改造改修には住居移転等含めて考えれば多額の費用を要するとのことであった。いま考えているのは、現場に行つて確認ができれば再度役場のほうから二次的な放送をやる方向で現在検討しているところである。

**議員** 海抜表示と水準点を記したモニユメントの設置を以前質問していたが、この建設計画はどうなっているのか。

**総務課長** それに代わるものとして避難所表示板の設置を実施する計画であるので、それを見てモニユメントをどうするのかは検討課題としたい。

**町長** 総務課長に指示しているのは、各行政区の消防詰所に避難箇所の経路等を記した看板の設置を検討し、標高については、例えばたらふく館、太良病院、庁舎、しおさい館といった海岸沿いにある公共施設に必要ではないかと思われるので、今後前向きに検討していきたい。



▲第2分団第12部に配備された小型動力ポンプ



▲第3分団第14部に配備された消防ポンプ自動車

# 一般質問

江口孝二 議員

## 防犯灯の増設を行い、住民の安全確保を

### 答▼関係機関と調整し、迅速な対応をしたい

**議員** 町道江岡・陣ノ内線は、太良高校生をはじめ多くの学生が利用する通学路であるが、夜間には安全な照度が確保できていないと言われている。そこで、多良駅から太良高校までの区間を、日本防犯設備協会が指定するクラスB（4m先の歩行者の顔の向きや挙動がわかる照度）の明るさに整備できないか。

**町長** 当該区間には、一定の間隔で防犯灯の設置が行われているが、クラスBの基準を満たすには

至っていないと思われる。これを実現するには、器具交換や増設などの対応が必要となるので、防犯灯の設置主体である多良地区防犯協会や行政区に協力していきたい。

**議員** 災害時の避難所に指定されている学校付近は、特にクラスA（4m先の歩行者の顔が判別できる照度）の明るさに整備できないか。

**町長** 今年度の事業で、各避難所を示す発光看板を設置することとしているので、設置後の状況を確認したうえで判断したい。

**議員** 行政区と行政区の境界付近は、防犯灯の未設置箇所が見受けられるが、通学路については防犯灯を整備できないか。

**町長** 役場、行政区ともに財政面や費用対効果等を勘案して現状に至っていると思われる。今後、行政区やPTA等からの相談があれば、町で対応すべきものについては対応したい。

**議員** 町長の答弁では、町は防犯灯の設置主体に協力するという

立場であるようだが、条例等による規定もなくどのような取り扱いを行っているのか。

**総務課長** 防犯灯設置に関する規定等はない。多良地区と大浦地区にそれぞれ防犯協会があり、そこが各地区からの防犯灯設置の補助申請を受けて、補助金を交付している。電気代等の維持管理は通常は行政区が負担している。

**議員** 太良町の防犯灯の大半は、行政区の維持管理のようだが、一部、町または防犯協会が維持管理している防犯灯があるのはなぜか。

**総務課長** 基本は行政区からの要望によって設置するので行政区の維持管理となるが、住民の要望等によって公共性や防犯上の理由により、行政区の要望とは別に設置する必要があるため町内に数カ所あるためである。

**議員** 教育委員会が作成した安全マップには、街灯がない場所が表示されている。多良小・中学校の分で2カ所記載されているが、対策は済んでいるのか。

**総務課長** 未対応となっている。

**議員** 別件だが、先般、大浦中学校は通学路の変更を行ったと聞く。夜間の照明不足箇所を回避するためであったそうだが、国道から大浦中学校までの通学路の全般的な安全対策の根本解決には

なっていない。私は当該地域の防犯灯数と明るさの調査を実施したが、明るさも均斉度も不十分であった。このような状況下、多良・大浦の通学路の安全確保のためには、町は補正予算等を編成してでも対応すべきと考えますが、他に方法があるか。

**総務課長** 設置箇所の状況によるが、費用的に防犯協会が対応できる範囲を超えている場合は、町で予算で対応するのが筋であると考えます。

**議員** そこまでの認識があるのなら、当初予算に計上すべきであったと考える。また、町の総合計画には、交通安全・防犯の充実として防犯灯の整備充実が記載されており目標数値も掲げられている。この目標を達成するためにも町がリーダーシップを発揮して行政区や防犯協会、各学校等と協議すべきではないか。

**総務課長** 積極的な取り組みを行いたい。

**議員** 12月議会の議案第78号で提案のあった税条例の一部改正による増額分を防犯灯整備に使う事ができるか。

**財政課長** 使途は、市町村が実施する防災・減災事業となっているので、防犯灯ではなく、避難経路の照明という位置付けならば可能と考えます。

**議員** 町がリーダーシップを発揮して、その財源等を活用することで、住民や学校等の要望に応じてもらいたい。

**町長** 防犯灯設置については、今後、設置基準や体制を整理して迅速な対応を行っていききたい。



▲LED 防犯灯

# 一般質問

田川 浩 議員

## 健康マイレージ制度の導入は考えられないか

答▼今後、検証を進めていきたい

### 健康づくりについて

**議員** 健康づくりは、適正な食事をとり、運動不足を解消し、なるべくストレスを引き下げるなどして健康的な生活習慣づくりを行う一次予防と、健康診断や人間ドック等で病気を早期発見・早期治療を行う二次予防に総合的に取り組むことが重要と考える。太良町において、健康づくりの総合的な計画書はあるか。

**議員** 内容はどんなものか。

**健康増進課長** 7つの柱で構成されており、食事のバランスを心掛けている人の割合を現在の41%から60%に、週3回以上運動している人の割合を17%から30%に、特定健診の受診率を60%に、各々目標数値を定めている。

**議員** その特定健診受診率だが、徐々に向上しているものか、未だに40%台である。受診率向上策としてどのようなことをやっていたか。

**健康増進課長** 防災無線やケーブルテレビでの呼びかけ、各地区別に受診率状況を中間発表という形で各戸回覧、集団健診会場での健康グッズ配布、そして個別に電話したり受診勧奨に努力している。

**議員** 特定健診時に、ピロリ菌の検査もできるようにしたらどうか。

**健康増進課長** 胃がん検診とセットで検討したことがあるが、無理だった。

**議員** 食育に関しては、どういった計画に基づいて行っているのか。

**健康増進課長** 食育推進基本計画に基づいて行っている。

**議員** 太良町の高血圧患者割合がここ何年か県内市町村の中でずっと1位である。どうか対策はできないか。

**健康増進課長** 高血圧予防対策を重点において、地区をまわりながら啓発に努めていきたい。

**議員** ウォーキングを前面に出してまちづくりをしている自治体もある。太良町も風光明媚なウォーキングに適した環境の町であるので、推進してみる考えはないか。

**学校教育課長** 町で推進するというより、地域総合型スポーツクラブなどで愛好者のクラブを作ってもらい取り組んでもらいたい。

**議員** 過去に、町内で作成しているウォーキングのコースがあるのではないか。

**企画商工課長** 観光協会の「多良海道をさぐる」イベントのコース、JRRウォーキングの企画で提案したコースがある。

**議員** そういったコースを町民の方々に提示して推進してもら

えたらと思う。また、役場横の健康広場では毎晩、ウォーキングする方が多数いる。このような照明設備が整った場所を町内に増やしたらどうか。

**学校教育課長** 多良地区の健康広場、大浦地区の環境広場という既存の施設の有効活用をお願いしたい。

**議員** 健康マイレージ制度とあって、特定健診を受けたり、食育の講座に出席したり、スポーツ活動に参加したりしたら、それぞれポイントを得ることができ、それがある程度貯まったら、商品

券と交換が出来たり、抽選会への参加資格が得られたりするという制度がある。この制度を取り入れて特定健診受診率が70%を超えた自治体もあると聞く。太良町でもこういう制度の導入は考えられないか。

**健康増進課長** 現時点では、集団健診に来ていただいた方に健康グッズの配布をここ2年間実施していて、それなりの受診率向上に繋がってきていると思うので、当分はそういった形で実施しながら、それと同時に健康マイレージ制度についても検証を進めていきたい。



▲特定健康診断の集団検診の様子



# 一般質問

牟田則雄 議員

## 各基金の活用状況は

### 答▼設置目的に応じた事業の財源として活用していく

**議員** 各基金の設置目的および活用方針について問う。

**町長** 財政調整基金は災害復旧、その他財源不足を生じた時の財源調整等、減債基金は財政の健全な運営のため町債の返済等、地域福祉基金は明るい福祉社会を築く事業の経費に充てる等、下水道等事業基金は下水道事業の費用に充てるため、地域づくり事業基金は個性豊かな活力あるまちづくりを推進する各種事業の費用に充て、スポーツ文化振興基金はスポーツ振興および文化連盟活

動補助金等、公共施設整備基金は特産品振興施設の整備や道の駅の整備等、設置目的に応じた事業の財源として活用するように計画している。

**議員** 各基金の目的外への取り崩し利用は出来ないのか。

**財政課長** 財政調整基金、減債基金以外は目的外への取り崩しは出来ない。

**議員** 太良町の財政規模に対して各基金額はどの程度が妥当か。

**財政課長** 特定目的基金については特にない。

**議員** 目的外取り崩しも出来る財政調整基金、減債基金についてどうか。

**財政課長** 財政調整基金については、一般的には標準財政規模の一割程度と言われている。減債基金については、適当な額というのではないが計画的な償還に必要な額の積立があればいいと考える。

**議員** この様な財源があれば、太

良町の目標である活性化に向けた財源として去年とは違う特色を出し、町民のやる気を促すようなお金の使い道を考えてみてはどうか。

**財政課長** 毎年同じ額を使っているわけではなく、事業の内容によって要望に応じて基金を使っている状況である。

**議員** 例えば、地域づくり事業基金等は町民から要望されている果協跡地の購入資金等には使えないか。

**企画商工課長** 地域づくり事業基金は、条例の中で、地域づくり事業、人材育成事業、むらおこし推進事業等に使えるようになってるので、検討を要する件だと思っ。

**町長** 公共施設整備基金も八億円余りあり、ある程度目的を達しているの、そこら辺も検討するように指示をしている。

**議員** 基金の積立額については国や県等から指導があるのか。

**財政課長** 特に国や県からそういう指導はない。

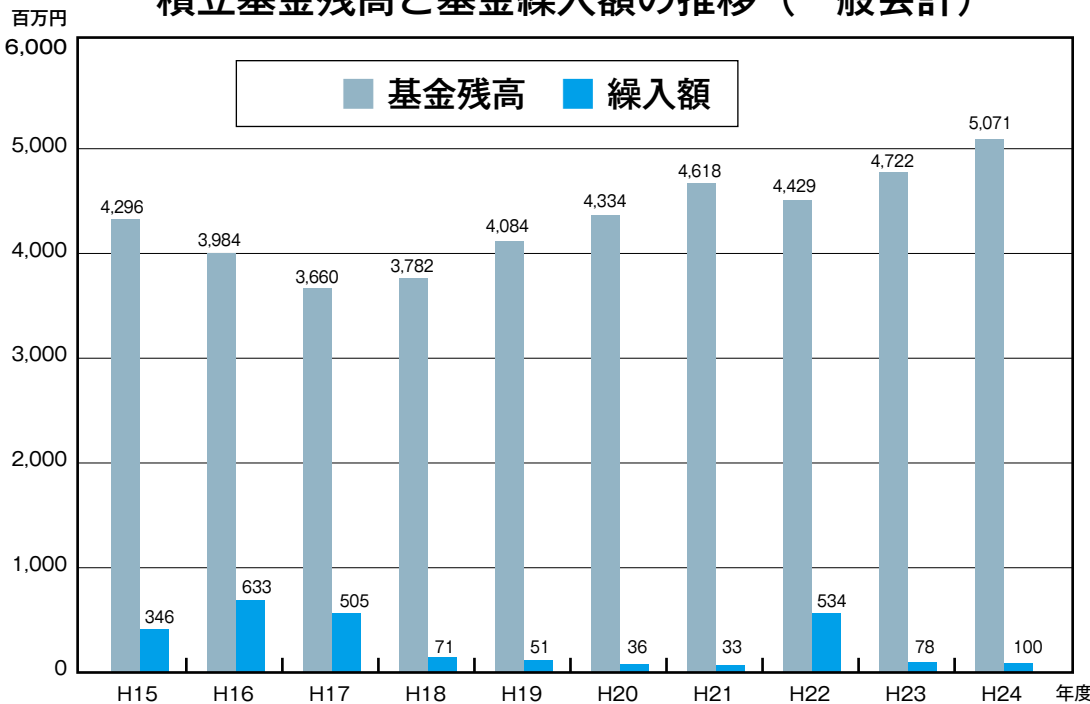
**議員** 街灯の設置は防犯協会の会費等が中心となって事業をしているようだが、街灯の公共性についてはどの様に考えるか、また基金の活用はできないか。

**総務課長** 設置の財源は、区民一戸三百円と町から約五万円、鹿島地区防犯協会からの十何万円で行っている。公共性については大変あると思うので、基金の利用については設置目的があるか広い意味で捉えれば出来るかと考える。

**議員** 各基金も知恵を出し合い、町民の活性化のために使い勝手の良い財源として考えられないか。

**財政課長** 設置目的があるか広い意味で捉え運用したい。

### 積立基金残高と基金繰入額の推移（一般会計）



※財政調整基金外7基金

# 総務常任委員会行政視察

(期日／平成26年1月27～29日)

総務常任委員会は、1月27日から29日までの3日間、行政視察を行いました。

1日目の27日は、特定健診受診率向上を中心とした健康づくりの取り組みについて、大分県の九重町を視察しました。

九重町では、特定健診と共に各種検診を同時に実施し、できるだけ多くの人を受診できる様な検診日を設けるなど努力されていました。しかし、未受診者に対して、文書通知や電話など行政側が勧奨するだけでは限界があり、最低でも地域の住民を巻き込んで何らかの動機づけを行い、健康づくりについての啓発をしていくことが必要だと感じました。また、ポイント制にしてインセンティブを付けたりして受診率を上げている市町村もあるので、太良町の場合も受診率がある程度頭打ちになった場合、そういう施策を行うことも考えられると思いました。

2日目の28日は、消防・防災の取り組みについて、宮崎県の川南町を視察しました。

川南町は、青森県十和田市、福島県矢吹町と並んで三大開拓地として紹介され、「川南合衆国」と呼ばれている町です。消防団員定数243名のうち現団員は女性団員5名を含む241名で組織されております。団員の確保については、団員が商業店舗で割引などのサービスを受けられる応援事業所の導入検討など様々な努力をされ、宮崎県一の組織率で平均年齢も30.77歳と太



良町より若い状況でありました。消防団の機材整備状況は太良町とさほど変わりなく、目立ったのは14部中13部に発電機が配備されてありました。また、毎年避難訓練を実施され、昨年の訓練参加者が住民の1割程度と少なく、住民に危険意識がないので多くの人に避難訓練の必要性を理解してもらうような工夫が必要ということでした。太良町でもいつ何時災害が起きるかわからないので、事前防災に心掛け情報発信や自主防災組織等を活用した避難訓練を実施するなど、住民を巻き込んだ防災対策が必要と感じました。



# 経済建設常任委員会行政視察

(期日／平成26年2月5～7日)

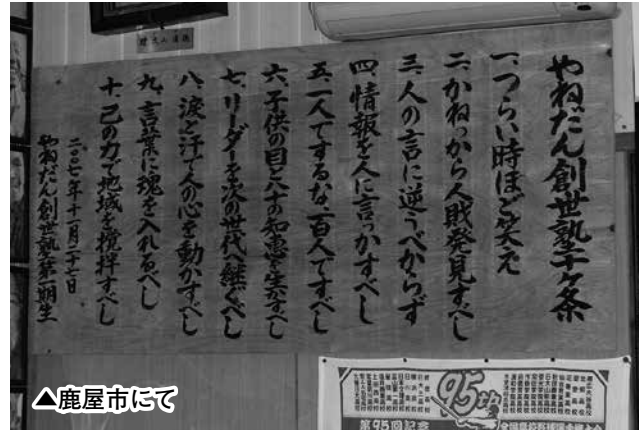
経済建設常任委員会は、2月5日から7日までの3日間、鹿児島県鹿屋市、宮崎県小林市、熊本市の3カ所を視察しました。

鹿屋市の東部、大隅半島のほぼ中央に位置する柳谷町内会、通称「やねだん」と呼ばれているこの町では、行政に頼らないをモットーにすべての住民が参加する地域づくりを行われています。この「やねだん」は人口約300人、世帯数約120で4割以上が高齢者という町内会で、自ら

の手で財源を確保するため遊休農地を活用し、サツマイモや落花生を作られていました。サツマイモは青果だけでなく、焼酎の原料にも使用して製造販売までされていました。また全国各地から芸術家を受入れ、身近に芸術と触れる環境を築き上げていました。個人の長所を最大限に引き出す協働体制を構築し、地域のリーダー養成のための「やねだん創世塾」を平成19年から開講されていて、今年度は太良町からも一名受講されていました。

次に、宮崎県水産試験場小林分場で宮崎産キャビアについて話を聞きました。今から30年前の昭和58年からチョウザメ養殖による特産品の確立を試みられ、平成3年には人工孵化に成功し、研究は順調に進むと思われたが、なかなかうまくいかず苦節30年。今ではキャビアの量産化もできるようになったそうです。宮崎県内には19カ所の養殖場があり、昨年11月には3カ所の養殖場からキャビアが出荷され、高級レストランのシェフからも高評価を受けているようです。

最後に、熊本木材株式会社で研修を受けました。ここでは現在、生の製品であるグリーン材、天然乾燥のAD材、人工乾燥のKD材の3種類を販売されています。価格低迷の影響で中国・韓国・台湾への木材輸出が伸びているため、年々増加している人工林を活用した木材輸出も計画されているようです。新しい事業としては、原発を停止した場合の新たなエネルギー確保のために木材を使った発電が考えられ、その原料となる木材が将来的には需要が増加するとの期待が持てるということでした。多良岳材については高い評価を受け価格低迷の中、ブランドとして確立されており、これからも引き続き、より品質の高い多良岳材を生産していく必要性を強く感じました。



△鹿屋市にて



△熊本市にて



△小林市にて

# 新年度議案調査

3月定例会に提案された議案について現地調査をおこなった。

## 新年度議案調査(平成26年3月6日)

3月定例会に提案された議案について現地調査をおこなった。



▲伊福地区の配水管敷設替え工事（5カ年計画）を視察



▲大浦小学校で行われている学童保育を視察

## 多良小学校三里分校閉校式 (平成26年3月23日)

明治13年に糸岐小学校の分校として誕生して以来、134年の伝統を誇る三里分校が、惜しまれながら閉校しました。



## 区長役員会との意見交換会 (平成26年3月19日)

太良町の「まちづくり」について、区長役員会の皆様と意見を交換しました。町の活性化について少子高齢化から雇用問題まで活発に意見が交わされました。



## 高知県宿毛市議会政務調査受入れ



◀ 期日：平成26年1月30日

場所：3階大会議室

《研修事項》

空き家条例の運用状況について、平成25年4月1日制定された空き家条例の事務の流れ、実態調査、勧告、行政処分、行政代執行等について意見交換を行った。

## 第67回佐賀県町村議会議長会定期総会

期日：平成26年2月12日 ▶

場所：グランデはがくれ

TPPについて農山漁村が崩壊する恐れが高く、交渉次第では脱退を含めた決然とした行動の要請と、与党において国会に提出する動きがある道州制の導入に反対するとともに「議会機能の強化」「分権型社会の実現」などの実現を期する決議が満場一致で採択された。



## 杵藤地区四町議員研修会

期日：平成26年2月20日 ▶

場所：しおさい館

《テーマ》

「道州制」について

今からの日本にとって、重要な問題である道州制について、様々な角度から見た内容を聞き、研修した。

講師：今村雅弘衆議院議員



議会の主な活動 1月～3月

1月

- 4 平成26年成人式
- 4 第41回太良町新春マラソン大会
- 5 太良町消防出初式
- 9 議会広報編集委員会
- 14 太良町農業再生協議会総会
- 15 第20回議会活性化特別委員会
- 21 平成25年度政策研究委員会・議長、事務局長合同会議
- 24 太良町社会福祉協議会理事会・評議員会
- 26 第32回太良町内駅伝大会
- 27～29 総務常任委員会行政視察
- 30 高知県宿毛市議会行政視察受入れ

2月

- 5～7 経済・建設常任委員会行政視察
- 7 佐賀県高齢者医療広域連合議会 定例会議案勉強会
- 10 映画「じんじん」試写会
- 12 第67回佐賀県町村議会議長会定期総会
- 13 第54回郡市対抗県内一周駅伝大会 嬉野・太良駅伝チーム出発式
- 14 多良中学校屋内運動場・武道場落成式
- 14 鹿島市議会との交流会
- 16 第54回郡市対抗県内一周駅伝大会 嬉野・太良駅伝チーム反省会
- 17 佐賀県高齢者医療広域連合議会2月定例会
- 18 杵藤地区広域市町村圏組合議事前勉強会
- 18 平成25年度同和問題地区別研修会
- 19 第21回議会活性化特別委員会

2月

- 20 杵藤地区町村議会議員研修会
- 22 第33回太良町青少年育成町民大会
- 26 鹿島藤津衛生施設組合議会2月定例会
- 26 佐賀県西部広域環境組合議会第1回定例会
- 26 杵藤地区広域市町村圏組合議会2月定例会
- 27 議会運営委員会
- 28 伊万里市名誉市民 故山下徳夫氏 市葬並びにしのぶ会

3月

- 1 太良高校卒業式
- 4 3月定例会議会招集
- 4 全員協議会
- 6 一般質問
- 6 議案調査
- 11～13 議案審議
- 13 第22回議会活性化特別委員会
- 14 中学校卒業式
- 14 消防ポンプ自動車及び小型動力ポンプ引渡式
- 18 小学校卒業式
- 18 平成25年北多良土地改良区通常総会
- 19 平成25年大浦土地改良区通常総代会
- 19 議会広報編集委員会
- 19 区長会役員との意見交換会
- 20 人・農地プラン検討委員会
- 23 三里分校閉校記念式典
- 25 議会広報編集委員会
- 26 太良町社会福祉協議会理事会・評議員会
- 27 杵藤地区広域市町村圏組合議会2月定例会
- 27 社会教育委員会兼公民館運営審議会

平成25年度後期(10月～3月分) 議長交際費の支出状況

種別	件数	支出額(円)
祝儀	—	—
会費	1	5,000
慶弔	1	20,000
贈呈	1	5,000
謝礼	2	12,400
その他	—	—
合計	5	42,400

街角クイズ!!

お買物券が当たる!



Q) 町内のどの地区に咲いている桜でしょうか?

A) ○○地区

解った方は、ハガキに答えを明記し、住所・氏名・電話番号をご記入の上、下記に応募下さい。

〒849-1698 藤津郡太良町大字多良1-6太良町議事事務局「街角クイズ係」宛

※締め切り/4月末日 消印有効

※当選発表はお買物券の発送(抽選)をもって代えさせていただきます。

前回は多数のご応募ありがとうございました。

編集室より

4月は風薫る心弾む絶好の季節です。また、人生の節目となる入園、入学、就職など、夢と希望に満ちた素晴らしい月でもあります。

平成26年3月定例会が3月4日から14日までの会期で開かれました。3月定例会は新年度予算を審議する大変重要な定例会であり、新しい町づくりの施策等について審議いたしました。町の発展はもとより、町民一人ひとりが充実した生活を送れるよう尽力していきたいと思えます。議会だよりに関し、町民の皆様のご意見・提言をいただければ幸いです。

編集委員会



委員長 副委員長 委員

- 所賀 廣
- 田川 浩
- 牟田 則雄
- 江口 孝二
- 平古場 公子